

大田区 基本構想審議会 第1部会 資料

第2回

平成19年10月18日(木)



第2回部会の論点

「羽田空港を含む臨海部を、まちづくりにどう活かすか」

- 空港を活かしたまちづくり
- 海、水辺を活かしたまちづくり
- 国際都市としての仕掛け、魅力づくり



論点1： 空港を活かしたまちづくり

関連参考資料：

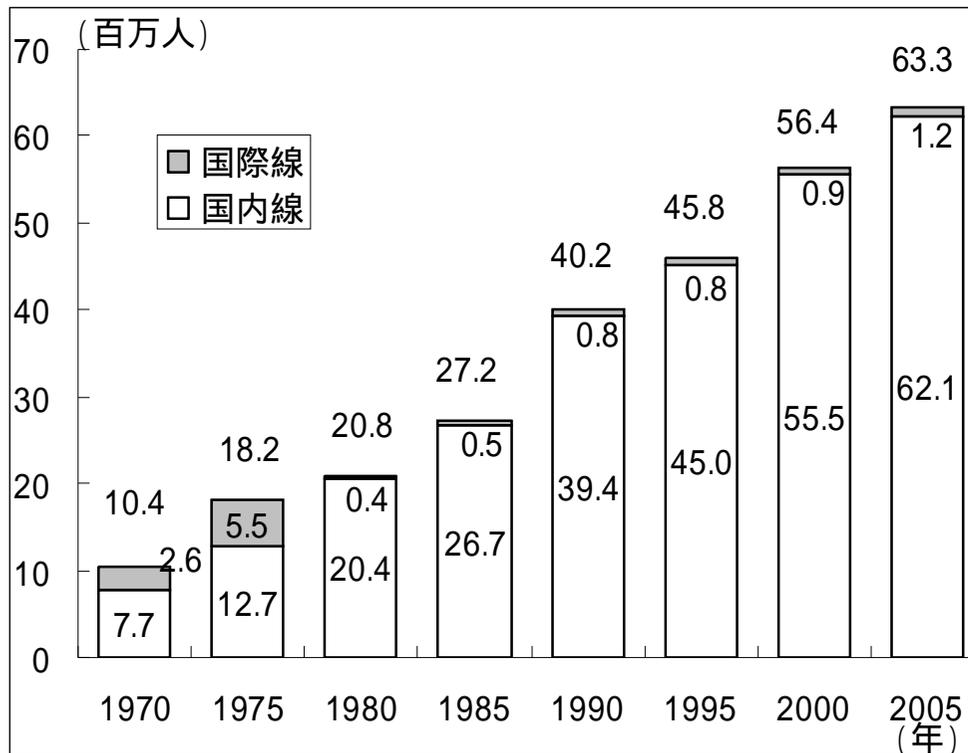
大田区に関する基礎資料集 57～61ページ
第1回部会資料 6～9ページ

空港を活かしたまちづくり

【現状】

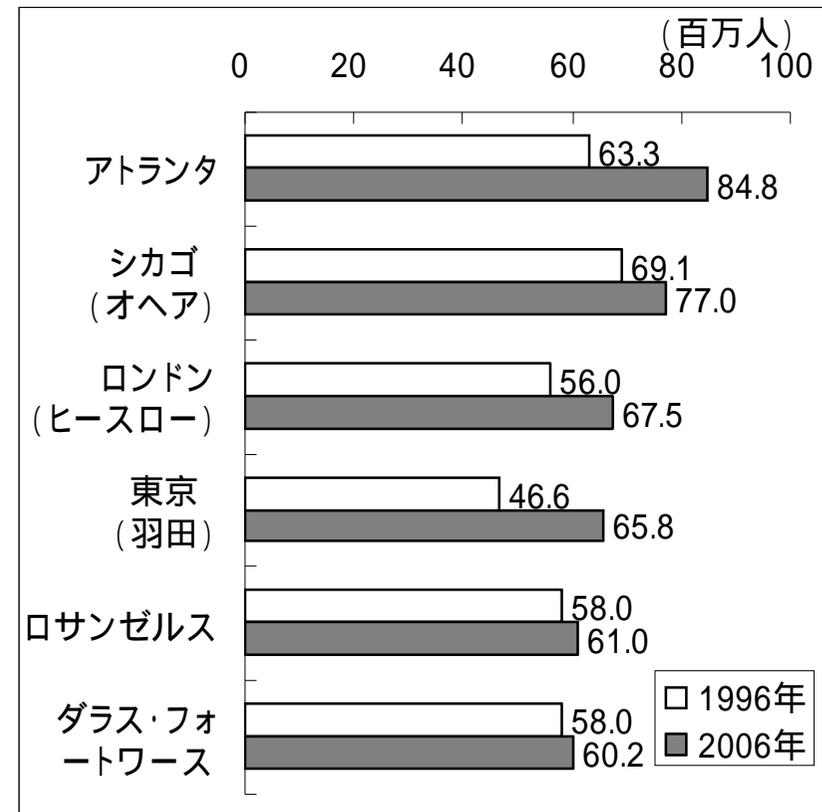
羽田空港は世界有数(第4位)の乗降客数を誇る巨大空港であり、その利用者数はさらに拡大を続けている。

羽田空港乗降客数の推移



(資料)国土交通省「空港管理状況調」等より作成

世界の主要空港の乗降客数

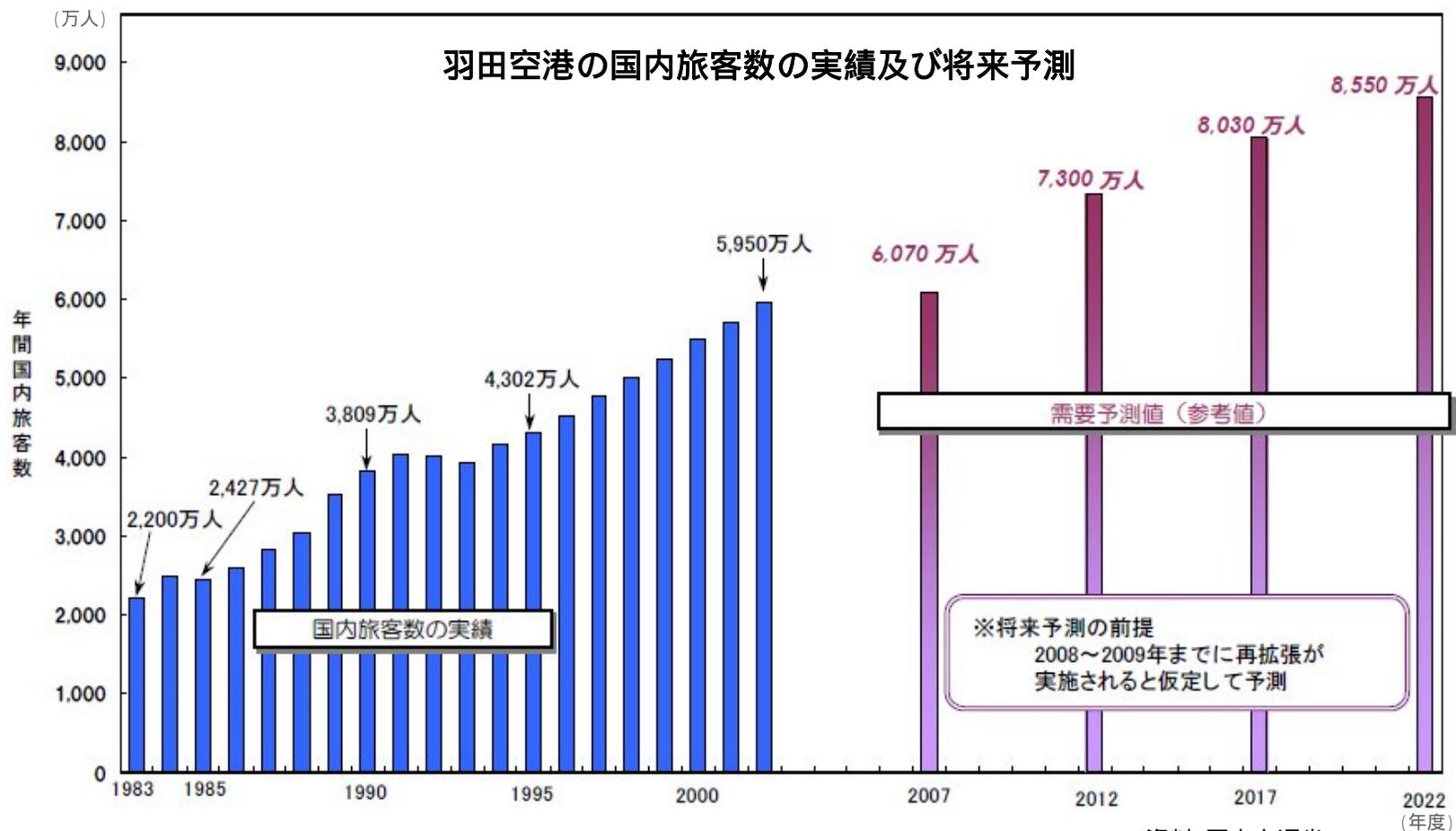


(資料) Airport Council International資料より作成

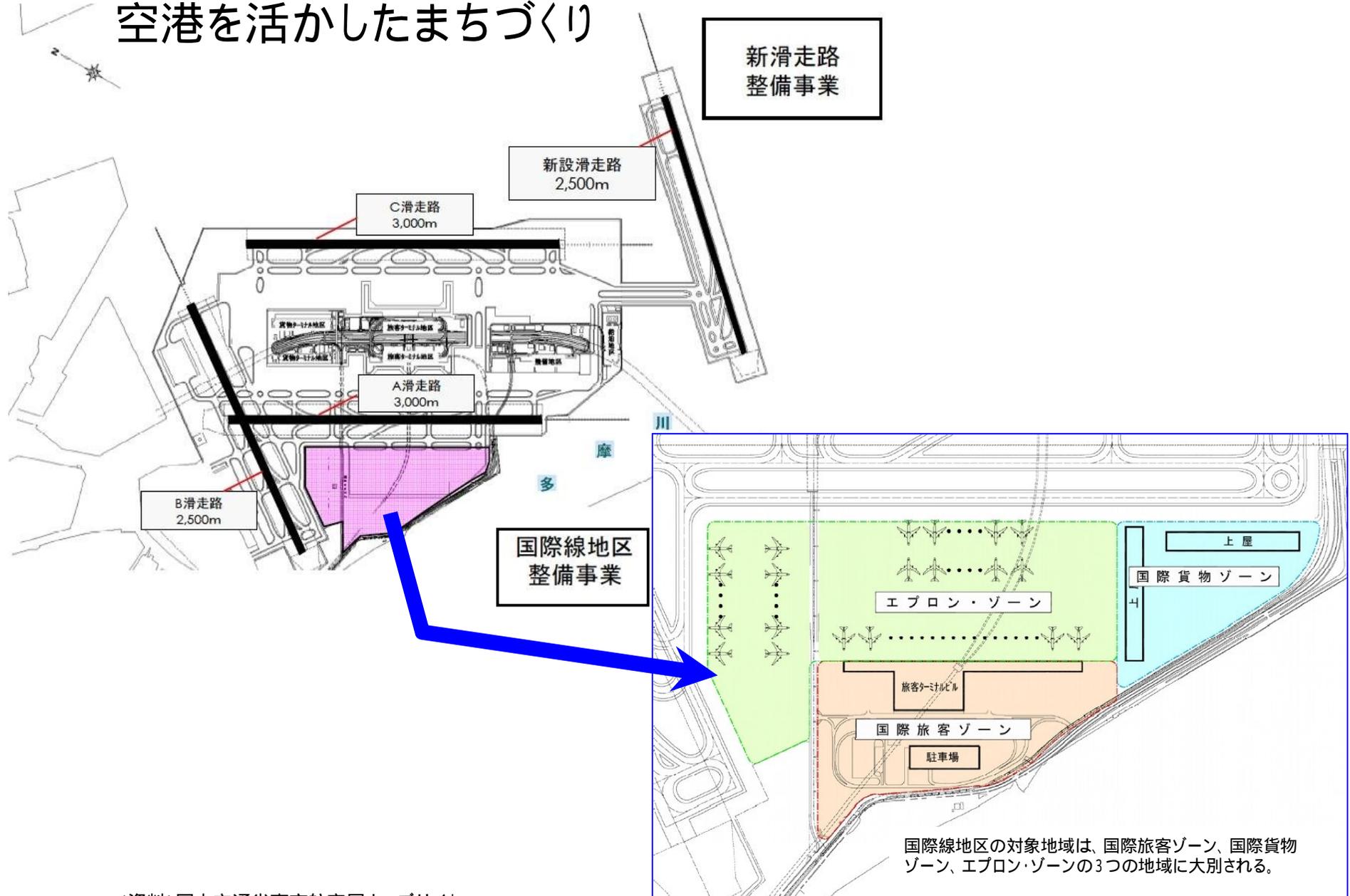
空港を活かしたまちづくり

羽田空港では第四滑走路や国際線旅客ターミナルなど再拡張整備が進められており、さらなる利用拡大が想定されている。

再拡張後はアジアを中心として国際線の就航が見込まれており、今後は国際的なゲートウェイという新たな役割が加わることとなる。



空港を活かしたまちづくり



(資料)国土交通省東京航空局ウェブサイト

空港を活かしたまちづくり

跡地で整備する機能としては、交流に関する機能の他、親水機能や緑地整備などが想定されている。

■ 羽田空港跡地 ゾーニングイメージ



大田区が想定する機能イメージ

機能イメージ	主な施設構成イメージ
文化交流機能 文化、商業、業務、交流、憩いの複合拠点	<ul style="list-style-type: none"> ・研究機関 産業技術交流 ・展示館 ・全国物産店 レストラン 業務系施設 ・商業施設(エンターテイメントパビリオン) ・アミューズメント施設 ・憩いの場などの多目的広場
環境共生機能 緩衝緑地の整備	羽田の森(広域非難場所) 緩衝緑地公園
国際交流機能 空港の国際化に対応した国際ビジネス、商業・観光施設などの交流機能の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモール レストラン ホテル ・コンベンション施設 ・水上交通ターミナル ・臨空業務施設
親水機能 親水護岸、親水公園の整備	多摩川沿いの跡地は護岸を整備し、親水公園としてプロムナード化する

(資料)大田区ウェブサイト

空港を活かしたまちづくり

【現状】

羽田空港へのアクセスに関しては、現状では鉄道(モノレール・京急)、高速道路・主要幹線道路が整備されている。

しかし、今後の利用者数・利用貨物の増加や、臨海部における交通渋滞等を考慮すると、今後のアクセス容量の拡大についても、検討が必要である。

臨海部の交通状況





空港を活かしたまちづくりとは、どんなことだろうか





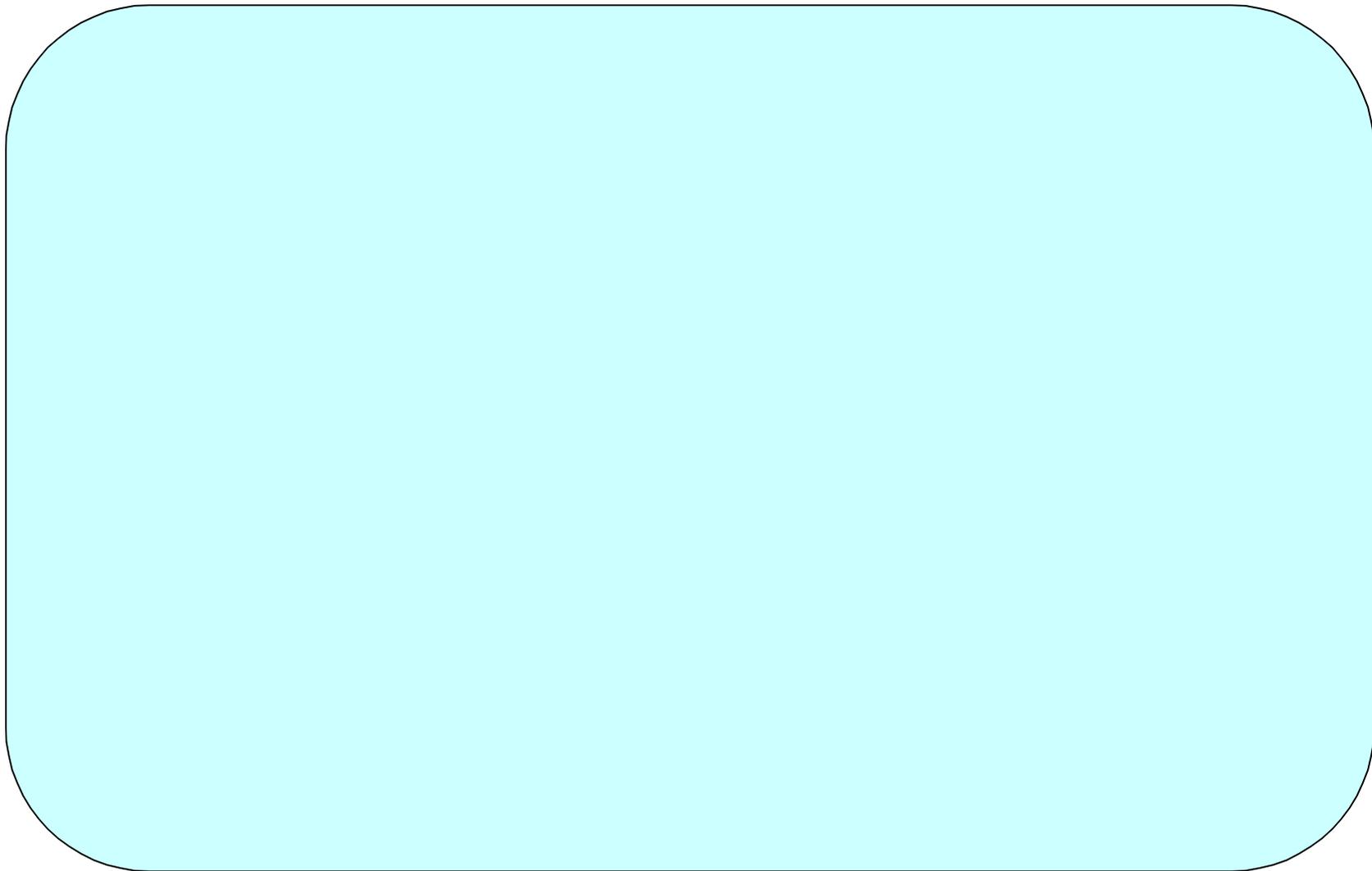
論点2： 海、水辺を活かしたまちづくり

関連参考資料：

大田区に関する基礎資料集 43～48ページ
第1回部会資料 13～14ページ



海、水辺を活かしたまちづくりとは、どんなこと
だろうか





論点3： 国際都市としての仕掛け、魅力づくり

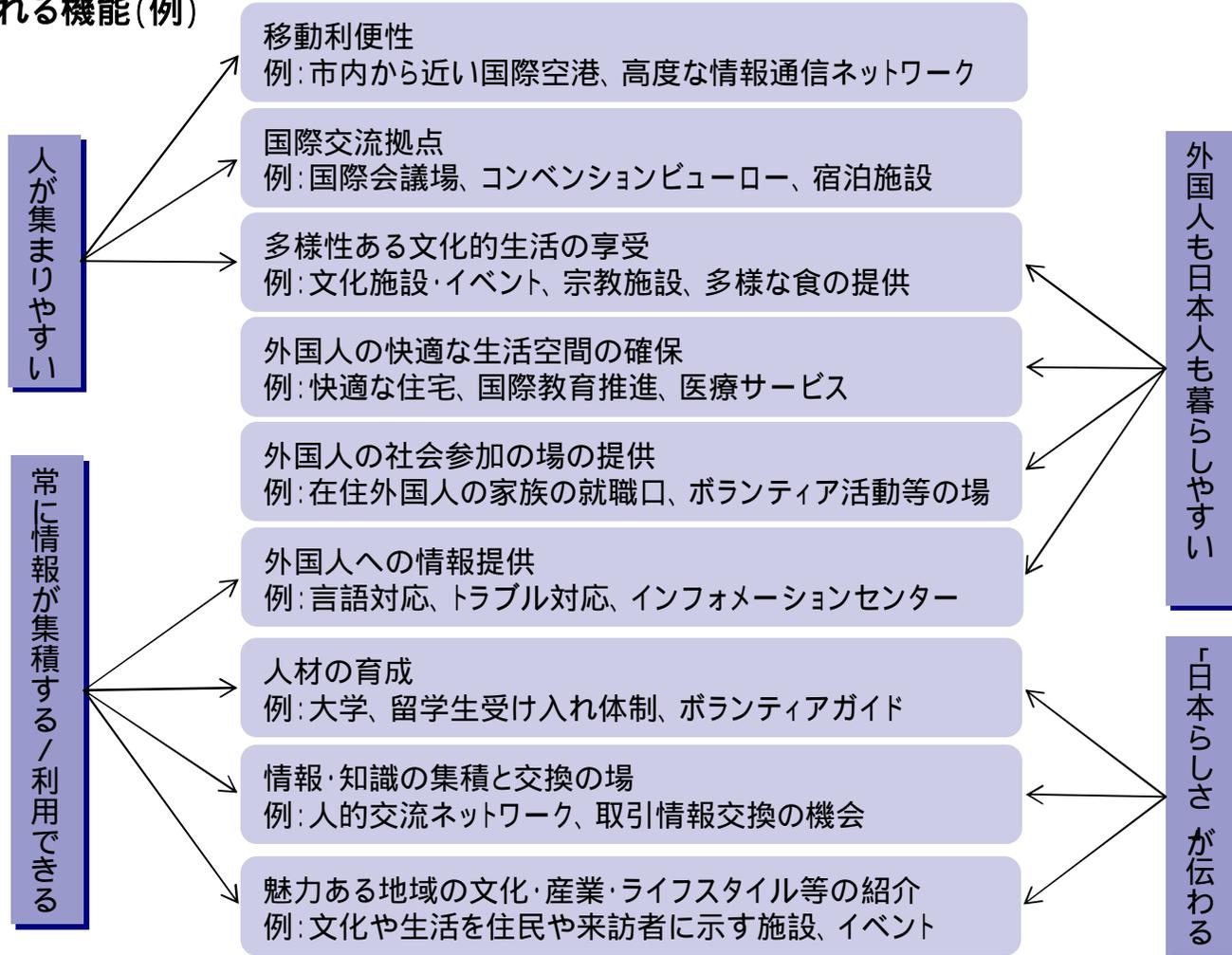
関連参考資料：

大田区に関する基礎資料集 58～59ページ
第1回部会資料 14ページ

国際都市としての仕掛け、魅力づくり

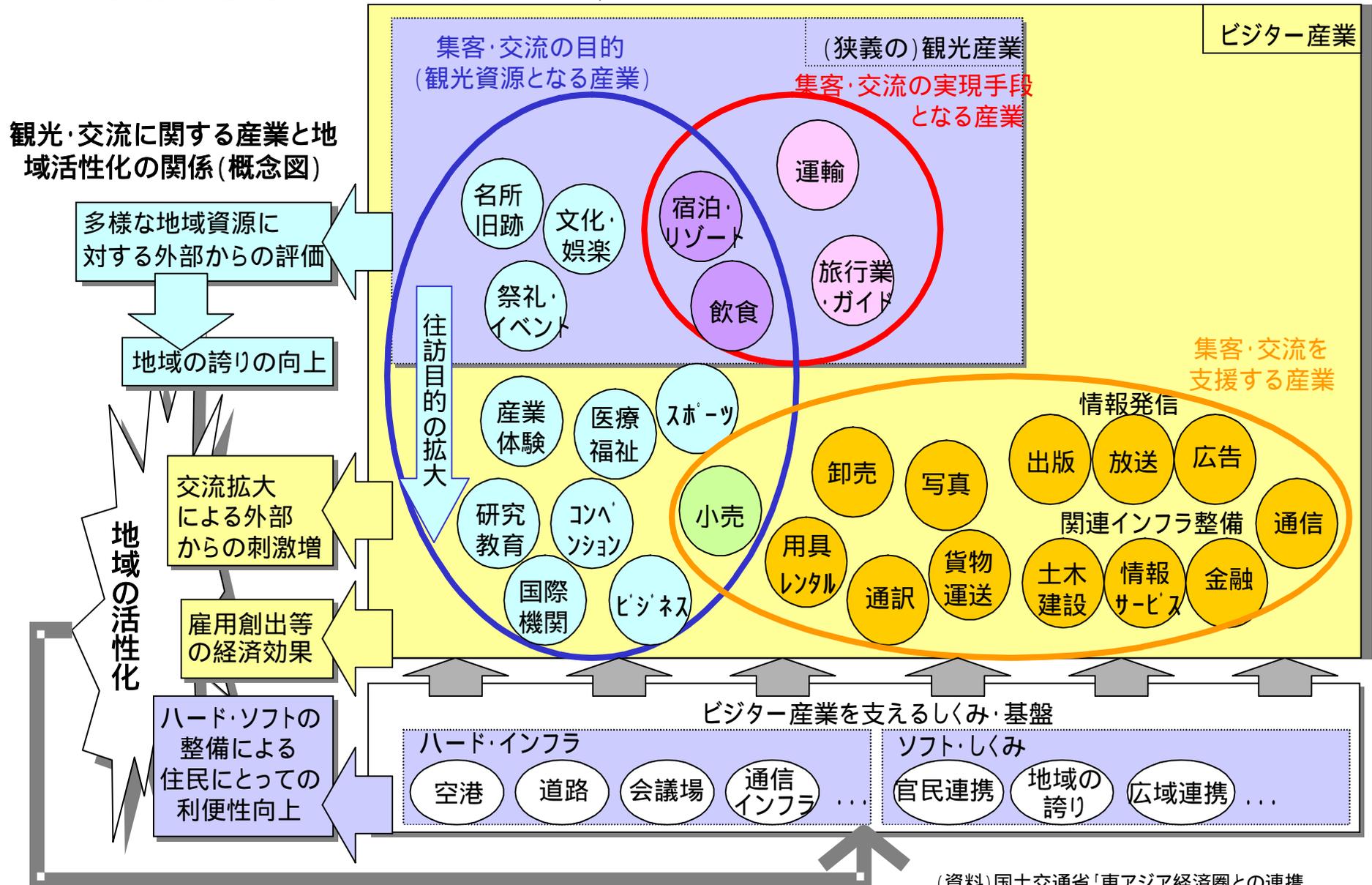
国際都市に見られる機能は多岐にわたり、これらの充実が望まれる。

国際都市に見られる機能(例)



(資料)国土交通省「移転先新都市の国際政治都市としてのあり方に関する調査報告書」に加筆・修正

国際都市としての仕掛け、魅力づくり



仕組み・基盤の整備の進展

(資料)国土交通省「東アジア経済圏との連携協力を資する国土基盤のあり方検討調査」



国際都市としての仕掛け、魅力づくりには、
どんなことだろうか

